

オーディオ実験室収載

アースアキュライザーの導入(8)(HP 収載) ー共通アースポイントとの接続(4)ー

1. 始めに

前報(7)に引き続き、アナログシステムの共通アースポイントの接続に使用してみます。

2. アースアキュライザーEA-1 の試聴計画

Garad401 でのアースラインの構成は共通アースポイントを経由しており、前報(5)で述べたとおりです。

今回は、ステップアップトランスの My Sonic STAGE 1030 の L/R アース端子と共通アースポイントの接続に使用してみます。現在は、Western の撚り線 2 本を使用していますので、アースアキュライザー 2 本に交換します。

音源は下記を使用します。

Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929

J.S.Bach Sonatas & Partitas

Nathan Milstein (Vn)

ドイツグラモフォン MG9551

ベートーヴェン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

グザ・アンダ (ピアノ)

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

EMI AA 9117・C

フリードリッヒ・ヘンデル メサイア

オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

3. アースアキュライザーEA-1 の試聴結果

共通アースポイントの銅板と My Sonic STAGE 1030 の L/R アース端子との間に 2 本のアースアキュライザーを接続した結果は次のとおりです。

バッハの Sonatas & Partitas は、少しぼやけ気味であったところから、音に切れがでて、良い意味でのバッハらしい緊張感が出てきます。

ベートーヴェンの選帝侯のソナタは、少し音が単調であったところから打鍵と余韻の響きのバランスが取れてきます。

ワーグナーのワルキューレは、オーケストラの分離が向上し、ソプラノやメゾソプラノの歌唱に張りがでできます。

ヘンデルのメサイアは、合唱とのオーケストラ分離が向上し、ソプラノやバスの歌唱に張りがでできます。

前報(5)から本報まで4回にわたって、順次、フォノケーブルのアース線、ステップアップトランスの STAGE 1030 からのアース線 L/R2 本、Leak Point1 からのアース線および自作仮想アースもしくは Crystal E からのアース線として試聴してきました。フォノケーブルのアース線は継ぎ足しですので、顕著な効果は見られませんが、その他は Western の単線や撚り線との置き換えであり、大きな効果を認め、どれを採るかは悩ましいところです。ステップアップトランスは2本必要ですので、1本で済むのは Leak Point1 と Crystal E ということになりますが、Crystal E は他のところで余ってきた光城精工のアース線をやりくりするなどして Leak Point1 を優先してもいいかなというところです。

4. まとめ

共通アースポイントと My Sonic STAGE 1030 の L/R アース端子との間に2本のアースアクライザーを接続した効果を認めました。

以上